

マザー  
キラー

とも呼ばれ命にかかわる『がん』です

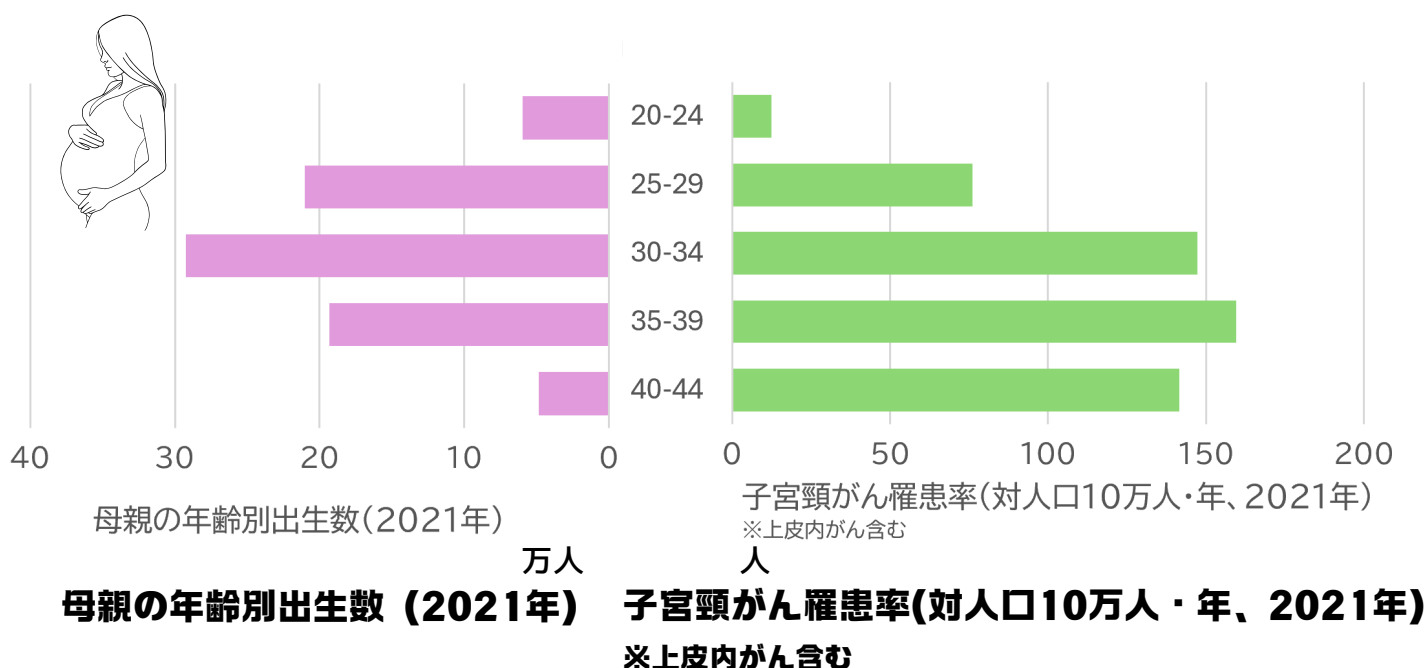
# 『子宮頸がん』が若い人に

## 増えています

!

2021年に子宮頸がんと診断された人は、**10,690** 人で、  
2023年に子宮頸がん で亡くなった人は **2,949** 人と、近年  
増加傾向にあります。

子宮頸がんは若い人がかかりやすく、20～30代の女性がかか  
るがんの第1位です。出産適齢期や子育て中の方が命を落とす  
ことも多いことから、「マザーキラー」とも呼ばれています。

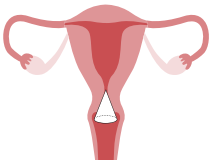




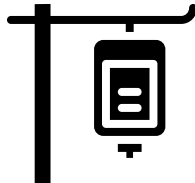








厚生労働省 人口動態統計月報年計(概数)の概況 母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数の年次推移 より作図

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai24/dl/kekka.pdf>

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」より作図

# 子宮頸がんは『**早期発見**』が とても重要です

進行期 分類	0期	I a期	I b期	II 期	III期	IV期
がんの 状態	上皮内 がん	微小浸 潤がん	浸潤がん			
治療	<div><div>子宮頸部 円錐切除</div></div> <div><div>妊娠可能</div></div>	<div><div>子宮全摘出術</div></div> <div><div>妊娠 不可能</div></div> <div><div>放射線療法</div></div> <div><div>化学療法</div></div>				
5年 生存率	 <div>ほぼ 100%</div>	 <div>95%</div>	 <div>80~85%</div>	 <div>60~70%</div>	 <div>約40%</div>	 <div>0~15%</div>

アイラボ ホームページ(<https://ilabo-cyto-std.com/knowledge/cancer-hpv/11363>)参照

子宮頸がんの治療では、早期とされる**ステージ I**の段階でも子宮を  
摘出しなければならないことがあります。妊娠判明後にかんが見つ  
かって、赤ちゃんとうちを同時に失ってしまうという悲しい事例も  
生じています。

進行した場合、妊娠をあきらめなければならない他、リンパ浮腫や  
排せつトラブル、性交障害といった後遺症も大きくなり、生活に支  
障が出ることも多くあります。一方、検診でがんになる前の段階で  
見つけて治療することも可能です。

**ご自身のため、できるだけ早く見つけて治療することが  
大切です。**



後遺症の一例

リンパ浮腫

日本医科大学形成外科学教室HP  
(<https://www.nms-prs.com/outpatient/02/index.html>)より転載

# 子宮頸がんはワクチンと検診で



## "予防"

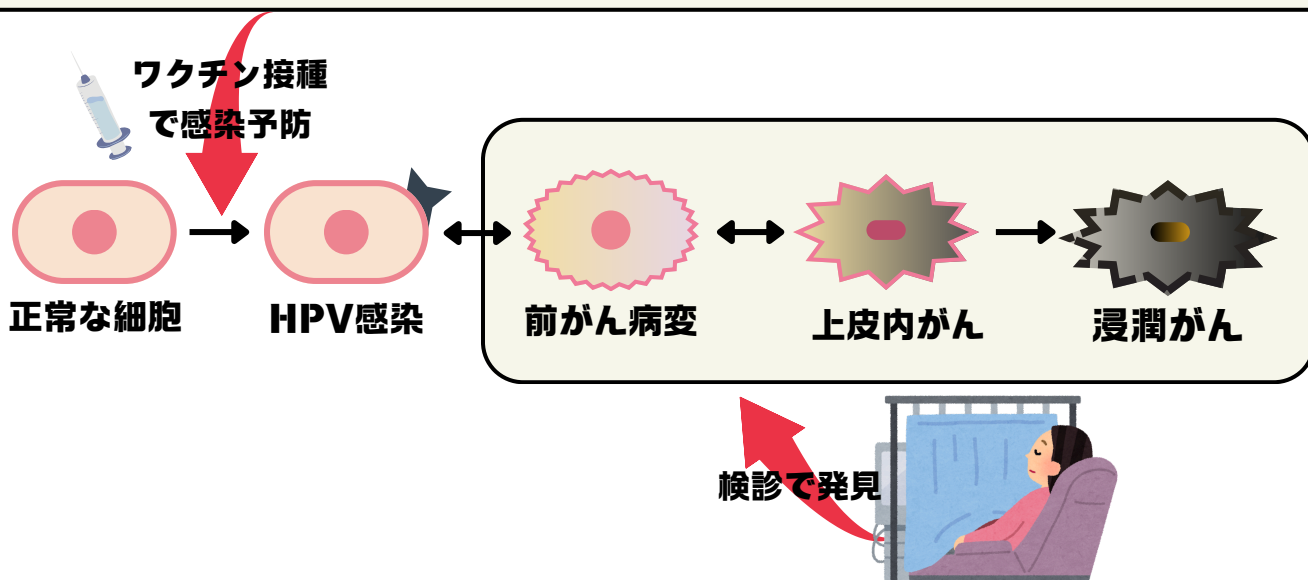
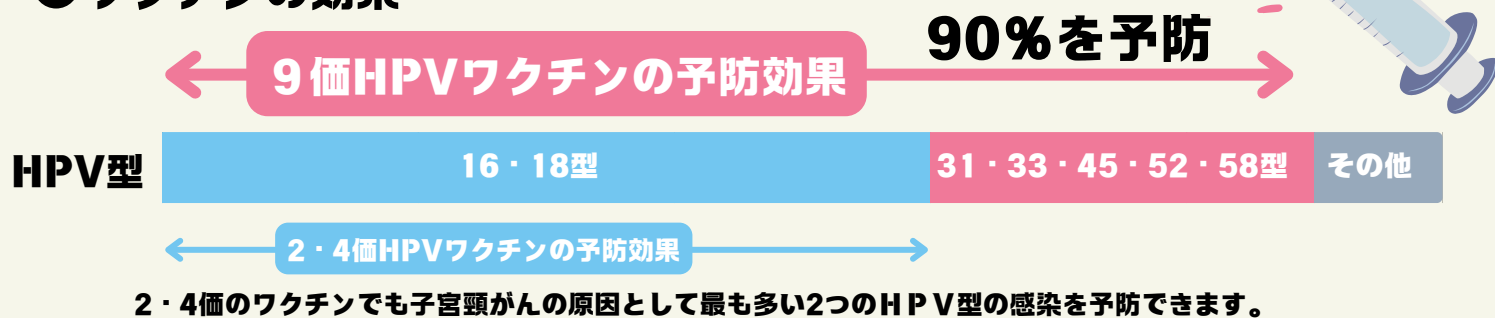
## できます



子宮頸がんの原因の大部分はHPVウイルスの感染です。性交渉で感染しほとんどは免疫によって自然消滅しますが、一部感染が継続すると細胞が異常化し、数年を経てがんに行進します。

HPVワクチンはがんになるリスクの高いHPVウイルスの型の感染を予防し、がんになるリスクを下げることができます。

### ●ワクチンの効果



ワクチンを接種していても子宮頸がんを完全に予防することはできません。子宮頸がんは自覚症状に乏しいため、早期発見のためには定期的な検診が何より重要です。子宮頸がんは深刻な病気ではありますが、ワクチン接種と定期的な検診で予防することができます。

大切なあなたの身体を子宮頸がんから守ってあげてください。